

2015年7月創刊、月に90万ページ読まれている「地域インターネット新聞」のダイジェスト版です

ネットで注目の話題

<http://hiyosi.net>

「アピタテラス」開店は3月末、テナントに公的施設や医院も



建設が進む「アピタテラス」(左)、右奥は米アップルの研究所「YTC」

「アピタ」が来年春に戻ってきます。パナソニック(旧松下通信工業)跡地の「**綱島SST**(Tsunashimaサスティナブル・

スマートタウン)」(綱島東4)で建設中の大型スーパー「アピタテラス横浜綱島(仮称)」のオープン時期について、運営会社のユニーは、**来年3月末の開店を目標**にしていると住民向け説明会で明かしました。

アピタテラスは箕輪町2丁目でユニーが長年営業していた「サンテラス日吉」をイメージして名付けられた店名で、1階に食品スーパーを置くほかは、**2階部分など店舗の多くが外部テナント**になるといいます。

今のところ、テナントの内容は公式に発表されていませんが、小児科を含んだ**医療モール**をはじめ、高齢者の社会参加を支援するための横浜市では2カ所目となる公的施設「**生きがい就労支援スポット**」や、子育て関連施設が設置される構想があり、フードコートやキッズスペース、書店なども設けられる見通しです。

当初は**今年秋に開店予定**でしたが、ファミリーマートとユニーの経営統合などで遅れた経緯があるアピタテラス。綱島SST全体が“まちはらき”を予定している来年の春に注目が集まりそうです。

地域のニュース

● 綱島小へ通級移転で体育館やプール刷新

綱島小学校(綱島西3)では、綱島東小学校(綱島東3)から「通級指導教室」が移転することに伴い、大きな工事が行われています。体育館と通級教室を合わせた4階建ての建物を新築するほか、プールも刷新。2019年3月までに完成させる計画です。

● 56年の歴史に幕、大塚製靴の工場閉鎖へ

大塚製靴が日吉本町4丁目(日吉台中学校隣)に1961(昭和36)年から置いていた日吉工場を今年限りで閉鎖する方針を明らかにしました。跡地には92戸のマンションが2019年7月までに建つ予定。

これまで行われていた靴の特売「ファミリーセール」は10月上旬と11月の残り2回の開催となります。



● 高田駅近くのパチンコ店跡は92戸マンション

高田駅近くの荏田綱島線(日吉元石川線)沿いにあったパチンコ店「ローラン」が昨年12月に閉店し、跡地には7階建て92戸のマンションが建てられる計画です。現在工事が行われており、完成は2019年3月の予定としています。

防犯 街の安全

綱島西や下田町周辺で空き巣多発

綱島西と下田町を中心としたエリアで空き巣被害が相次いでいます。綱島西と綱島台では今年に入り公開されただけで未遂含め13件、下田町では1~3丁目で8月下旬から5件が連続。一戸建て・集合住宅ともに狙われており十分な警戒が必要です。



窓を割られて侵入されるケースが多い(写真はイメージ)

ひ 発行者からお知らせ

日吉・綱島・高田のインターネット新聞「横浜日吉新聞」は3年目。ご好評いただいている「紙版」も6回目の発行となりました。新聞折り込み以外に店舗や施設、町内会・自治会などでも配布・掲示にご協力いただいておりますが、「どこで手に入るか」とのお問い合わせも多くあります。紙版を置いていただけの店舗や施設などありましたら、サイト上よりご連絡をお待ちしております。

【発行元】一般社団法人 地域インターネット新聞社
横浜市西区北幸1-11-1 水信ビル7階

【裏面もご覧ください】

浜大(和風甘味・食事処)

<http://hiyosi.net>

和モダンの「浜大」が日吉駅近に6月開店、地元食材へのこだわりも

慶應の学生や街の人々がゆっくりと寛げる「和モダン」の喫茶店が誕生しました。今年6月30日、日吉駅西口から徒歩約3分の日吉商店街に、和風甘味・食事処「浜大(はまだい)」がオープン。地元企業から仕入れた食材にもこだわり、日吉の新しい喫茶空間として早くも人気と話題を集める「浜大」の店名は、元々は1980年半ば頃まで日吉住民に親しまれたスーパーマーケットが由来。その「スーパー浜大」を創業した故・磯崎慎二さんの孫に当たる店主・若宮さんが、地域により親しまれるスポットとしての同店の運営や新メニューの開発にも日々力を注いでいます。



和風甘味・食事処「浜大(はまだい)」は6月30日にオープン
(公式ツイッター: <https://twitter.com/hamadai1942>)

● 伝説の祖父・スーパーの歴史継ぐ店名に

この「浜大」を運営するのは、有限会社磯崎商店(日吉本町1)代表の若宮博彦さん。「スーパー浜大」創業者の娘(若宮さんの母)が結婚して夫の実家である四国・愛媛に移ったため、若宮さんは同地で生まれ育ちますが、時折帰省する日吉の街、また、「今でも人生で最も尊敬する祖父(磯崎さん)」が大好きだったといえます。



広々とした店内は全38席



店主の若宮博彦さんは愛媛県松山市育ち。祖父が経営していた「スーパー浜大」が大好きだったという

若宮さんは、帰省や大学進学、その後就いた電機設備メーカーでの仕事などで日吉にも戻って来ていましたが、「(祖父の会社を継承した)母が高齢になり、四国との行き来が難しくなったので」と、自身が日吉で創業することを決意。祖父のスーパーが地域の人々に愛されていたことを今も強く誇りに思い、祖父が興した「浜大」の復活を夢見て、店名にもその名を冠する決意を固めます。

● ロマンティックな「和モダン」の世界が誕生

「ゆっくり、若い女子学生の皆さんにも寛いでもらえる場を」と若宮さんが店内に描く自作アートは、来店客にやすらぎとぬくもりを与えています。「劇場」をイメージしたという店舗2階に上がる階段部分も、ロマンティックな風情を醸し、静かな人気を集めています。



若宮さんが描く「浜大劇場」へようこそ

● 綱島や新吉田から食材、新メニューも続々

「日吉にこれまでなかった」という本格的な和風喫茶としての味覚により親んでもらえたらと、地元の食材にこだわっているのが特徴。かき氷用の「純氷」やアイスは池田乳業(綱島東1)から、鍋焼きうどんや鍋焼きラーメンの麺は株式会社丸紀(新吉田東7)から、そして最も重要視しているというあずきやあんは、横浜の老舗工場として知られる清水製館(あん)所(泉区)から仕入れるなど、“地域密着にますますこだわっていきたい”と若宮さんは意気込みます。

夏から秋へ、和風パフェも充実



高知名物「鍋焼きラーメン」が新登場

毎日楽しめる食事メニュー(親子丼、牛カルビ丼、鍋焼きうどん、鍋焼きラーメン)のほか、ぜんざい、おしるこ、あんみつ、クリームあんみつ、季節のかき氷やパフェ、抹茶ミルクなどの和のスイーツやデザート類も充実。季節の新メニューも次々と生まれている「浜大」の日々の挑戦が、日吉の街のより一層の活性化につながるかに大きな注目が集まりそうです。

● 浜大(和風甘味・食事処)

日吉本町1-2-9 磯崎ビル2階
(日吉駅西口より徒歩約3分・日吉中央通りと浜銀通りの間)
営業時間: 10時~19時(延長応相談) 定休日: 月曜日
TEL: 045-548-4977(FAX共) Twitter: @hamadai1942
※団体予約・貸切も受付。詳細はお問合せください



横浜日吉新聞のツイッター(@hiyosi_net)は5,400人のフォロワー、フェイスブックは「いいね!」が1,900を超えました

